

ヤンゴン下水道整備計画【ミャンマー】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 令和7年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ミャンマー連邦共和国
(2) 案件名	ヤンゴン下水道整備計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	ヤンゴン市における下水処理場の改築・増設及び下水管の更新・新規敷設を行うことにより、同市内の下水道サービスの改善を図り、もって同地域住民の生活環境の改善に寄与するもの。 事業内容 ・ 下水処理場の改築・増設 ・ 下水管の更新・新規敷設 ・ 路地裏排水の分流化及び路地裏排水管の更新 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：令和2年1月21日 イ 供与限度額：459億円 ウ 金利：0.01% エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、ミャンマーの最大商業都市であるヤンゴン市では、約500,000m³/日（2011年）の下水（し尿、生活雑排水、事業書排水）が発生していた。うち、ヤンゴン市の中心商業地区では、19世紀末の英国植民地時代に整備されたし尿改修管路につなぐ形で2005年に同国政府が下水処理場を建設したが、当該地域の下水発生量に対して下水処理能力が足りない状況であった。加えて、下水処理場の処理能力不足やし尿改修地域の拡張などが進んでおらず、適切な処理が行われないうまま、若しくは未処理のまま排水路に排出されている状態であり、雨季には雨水排水路の下水が混入した水が同市内に溢れて浸水被害が発生するなど、市内の衛生環

	境に影響を及ぼしていたため、下水道サービスの改善を図る必要があった。 現在もヤンゴン市内では雨季には下水を含む水の浸水被害が発生する状況が続いており、一般市民の生活に影響が生じていることから、本事業に関する社会的ニーズが引き続き認められる。 イ 事業遅延に関する経緯 ミャンマー情勢の影響により、事業の遅延が発生している。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズは引き続きあるものの、2021 年のクーデターに伴いミャンマー情勢が不安定化しているところ、同情勢の推移を踏まえ、対応ぶりを慎重に検討する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料